

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年10月26日

派遣決定番号

## 地域情報化アドバイザー制度活用報告書(3日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	福岡県	代表者名	服部誠太郎		
担当者部署	商工部	連絡先電話番号	092-643-3453		
担当者役職	主任主事	担当者氏名	松尾和哉	連絡先E-mail	
住所	812-8577 福岡県福岡市博多区東公園7番7号				

#### 1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

### 2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	細川 哲星
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	本事業の趣旨やターゲットを十分に理解し、それらに訴求する資料の作り込みや準備、当日の運営を実施していただいたところ。
アドバイザーへの要望事項	引き続きご支援をよろしくお願いします。

### 3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年10月14日	13時30分	16時30分		180
3-2. 派遣場所	会場名	福岡県Ruby・コンテンツ産業振興センター	最寄駅	なし	
	所在地	福岡県福岡市博多区千代1丁目20-31	最寄駅からの交通手段	徒歩	
	派遣形態	講演(実地)			

### 4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	---

### 5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	企業、自治体、地域団体、NPOなど	20人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果	事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	
	シェアリングエコノミーのサービスを活用した実践的な体験講座の運営が必要	
	支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	
	シェアリングエコノミー伝道師であり、着地型観光に着目したシェアリングサービスaini(前TABICA)の開発責任者である細川氏より、より具体的で実践的な地域の魅力を発信する新たな手法について伝授していただく。	
	アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	
	「福岡県主催!新しいマイクロツーリズム体験養成講座」の講師および体験ワークショップ運営	
	支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	
	参加者全員がマイクロツーリズムについて理解をし、ainiのプラットフォーム上に観光体験を掲載するまで行うことができた(明日からでも自分でマイクロツーリズム体験を発信することができるような状態になった)	
	具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。⑦その他
		参加者全員のマイクロツーリズムへの理解、観光体験のブラッシュアップ、観光体験のプラットフォーム上への掲載、持続的に情報を発信するためのポイント理解
	改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入下さい)	市町村単位でのシェアリングエコノミー、マイクロツーリズムの推進について検討が必要
	アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケートについて実施していない(少人数の講座においてデータ分析を行う意義を感じないため、それよりかは受講者とのネットワーク作りや、今後の個別のフォローアップが重要と感じる)
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	⑥その他
事業の最終的な目指す姿	シェアリングエコノミーの普及・促進	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

